

都城市立山之口小学校の学力向上への取組

1 平成17年度の本校の学力調査結果及び意識調査から見た課題

(1) 学力調査結果からの課題

国語では、文脈に即した内容の理解と記述に関する出題内容の通過率が低い。調査時の観察では、全文を読まずに答えている児童が多く見られた。また、これまでに本学年児童が実施したCRTやNRT等の結果も合わせて分析すると、知能・学力のバランスは概ねとれているが、観点として「読む」力・「書く」力の項目が低いことが共通して言える。

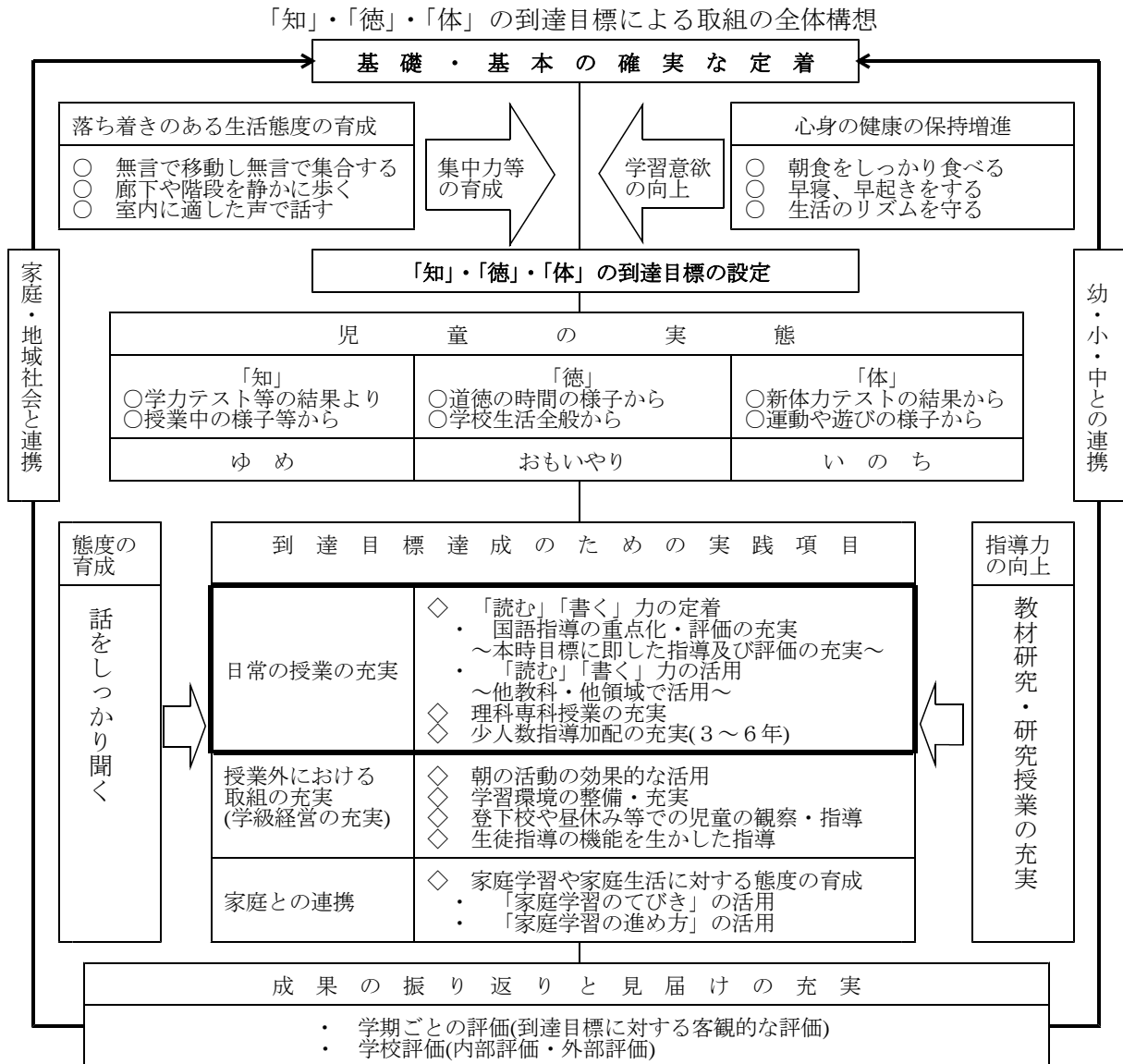
(2) 意識調査結果からの課題

集団全体としては、学力調査結果と比較して結果はよい。AAIの結果も合わせて分析すると、勉強のことで自分をきびしく見つめていない傾向があると言える。学習適応の状況を個々に把握して、個に応じた指導を行い学習習慣の形成に努めなければならない。

2 学力向上へ向けた課題解決への具体的な取組

(1) 学力向上に向けた経営方針

小中連携推進事業における到達目標との関連で日常の授業の充実を始めとする取組を進めた。学力向上の基本は、何と言ってもまず学級担任・専科等での日常の授業の充実にあると考える。



(2) 教育課程内の取組

① 「読む」力・「書く」力を高めるために

本校児童の実態から主題研究では、国語科における「読む」力・「書く」力を高める研究を推進している。普段の授業においては、「読む」「書く」活動を重点指導内容として取り組み読解力を高めるよう努めている。また、国語科にとどまらずすべての教科において「書く」力をはぐくむことを意識した研究を推進・実践している。

② 授業の工夫改善

特に伸び率・平均点の高かった理科では、以下の点を心がけ授業を行ってきた。

- ・ 興味・関心・意欲を高める授業づくりを行う。
- ・ 学ぶ楽しさを授業づくりを行う。
- ・ 覚えるべきことはリズム唱、動作化、替え歌、イラスト化等を行い学ばせる。
- ・ 板書の構造化を行う。
- ・ 調べ学習では、まる写しさせずにキーワードを見つけさせ、自分の言葉でまとめさせる。
- ・ 一人一観察、一人一実験をめざす。
- ・ インターネットのデジタルコンテンツの有効活用を行う。
- ・ 授業で使えるリンク集を作成中である。

(3) 教育課程外の取組

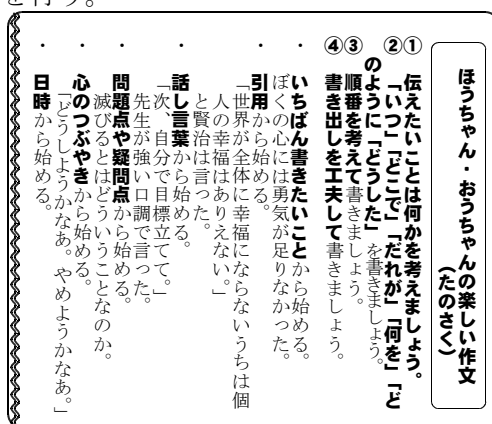
① 朝の時間の活用

本校では、朝の時間を次のように活用してきた。

- ・ 月…読み聞かせ（保護者）
- ・ 火…漢字学習（ドリル等）
- ・ 水…読み・書きのスキル学習と教師の読み聞かせ
- ・ 木…集会活動
- ・ 金…計算（ドリル等）

② 書く活動の手引き作成

- ・ 書く活動で基本的なスキルについての手引きを作成し活用している。
「ほうちゃん・おうちゃんの楽しい作文（たのさく）」



(4) 保護者・家庭、地域との連携

① 家庭学習の協力について

- ・ 9月の参観日では、全校懇談会の中で15分時間を設定し、家庭学習の必要性等の説明会を実施した。
- ・ 家庭学習に関するアンケートを実施しその集計結果をグラフ化して配付し啓発を行った。
- ・ 家庭学習の手引き・家庭学習の進め方を作成し配付した。本年度は、中学校区の小中学校で共通したものを配付し活用を図る。

② 学校評価について

- ・ 年度末では、「よりよい学校づくりに関するアンケート」を実施した。その中で、学力検査の学年毎の数値を公表し客観的に判断できる材料とした。

3 成果と課題（今後の取組を含む）

(1) 成果

- 「読む」力・「書く」力を高める指導を意図的・計画的に共通実践することが、他教科等での基礎・基本の定着を図ることにつながってきていると考える。他学年での学力調査の結果は全体として、過去2年間での伸びが見られる。
- 家庭学習の啓発活動等を通して、保護者の学力に対する意識が高まってきたと考える。

(2) 課題

- 学力向上のために、さらに日常の授業の充実に努めるとともに、学校間連携、家庭・地域との連携・協力を具体的に進めていかなければならない。